

れんめい和歌山

—看護と政治のかけ橋—

たかがい恵美子氏組織代表者に推挙される

第 49 号

発行者

和歌山県看護連盟

和歌山市太田 4-11-18

リベラルパレス太田 501

電話 073-488-6575

FAX 073-488-6580

発行責任者

松浦 三代



CONTENTS

ごあいさつ	2・3・4・5
研修報告 「年賀会」	6
平成 27 年度日本看護連盟通常総会 ポリナビ報告	7
平成 27 年度和歌山県看護連盟通常総会プログラム	8
活動計画 (案)	9・10・11
連盟からのお知らせ・編集後記、その他	12





和歌山県看護連盟会長 松浦 三代



平成 27 年度和歌山県看護連盟通常総会開催に向けて

梅雨の候、会員の皆様には、ご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は、和歌山県看護連盟の活動に、ご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

今年も和歌山県看護連盟通常総会を開催させていただき季節となりました。本来、6 月中の開催を予定しておりましたが、県民文化会館小ホールの急な工事のため、急遽、会場を変更いたしました。そのため、6 月中の開催ができず、7 月 4 日（土）の開催となり、看護協会地区支部総会等の行事と重なりましたことをお詫び申し上げます。

看護連盟は、昨年 12 月の衆議院議員選挙で、北関東ブロック比例区において、木村弥生衆議院議員が当選され、あべ俊子農林水産副大臣・衆議院議員、たかがい恵美子厚生労働大臣政務官・参議院議員、石田まさひろ参議院議員の 4 名の看護職の国会議員を擁することになりました。特に、あべ俊子議員、たかがい恵美子議員は、政府の一員として活躍されておられます。昨年 6 月に立法化された「医療・介護一括法案」にご尽力くださり、昭和 23 年以来、58 年ぶりに保助看法の改訂がなされました。また、雪害による看護師国家試験の追試を厚労省に強く働きかけ、初めて追試が実施され、約 500 名の看護学生が国家試験を受験できました。これもひとえに会員の活動が実を結び、組織代表の看護職国会議員を国政に送ることができた結果だと思えます。

超高齢化社会を迎える 2025 年に向け、150 万人以上いる看護職が医療従事者の半数を占め、チーム医療のキーパーソンとして業務拡大、質向上・保持に努めなければなりません。しかし、私たち看護職の働く環境は十分に整備されていません。働く女性の 17 人に 1 人が看護職の社会です。看護職が働き続けられる環境をつくることが重要な課題です。そのため、看護職自らが解決するため、看護職の国会議員を国政の場に送り出さなければなりません。

先日、6 月 2 日に開催された平成 27 年度日本看護連盟通常総会において、来年の夏の第 24 回参議院議員選挙候補予定者に「たかがい恵美子」議員が決定されました。私たちは、必ず、高い得票数で「たかがい恵美子」候補予定者を当選させなければなりません。

平成 27 年度は、和歌山県看護連盟創立 55 周年の年です。先人の先輩たちが私たち看護職のために連盟活動をしてくださったように、次の世代のため、県民の健康増進のため、「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに掲げ、私たちは活動します。

会員数 2500 名、獲得票 3000 票を目標に、組織一丸となって全力で活動してまいります。

また、和歌山県看護連盟は、和歌山県における看護問題解決に向け、看護協会と協働し、和歌山県議会議員との連携を深め、活動してまいります。

今後とも、会員の皆様の大きなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本看護連盟会長 草間 朋子



「課題提起型」「課題解決型」の組織を目指して

来年は、参議院選の年を迎えます。

看護政策を実現していく上で、「政治の力」すなわち看護系議員および看護を応援していただける国会議員の先生方の活動が不可欠であることは、平成 26 年 6 月の保健師助産師看護師法の改正で、連盟会員のみなさまにも認識していただけたことと思います。

連盟会員のみなさまのご尽力により、現在、参議院議員、衆議院議員それぞれ 2 名ずつの看護職の先生方を国会の場に送り出すことができていることは、看護連盟の活動を進めていく上でとても力強いことです。組織としての連盟の社会的な影響力を堅持していくためには、来年の参議院選で連盟のさらなる力を顕示していく必要がありますので

ご協力の程よろしく申し上げます。

看護に関係する改革・改善は、自分たちの問題として捉え、状況をもっとも熟知している看護職が主体となって進めていかなければなりません。看護政策実現に向けて「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに掲げている連盟は、「課題提起型」「課題解決型」の二つの機能を備えた組織です。先を見通す力と、一つひとつの課題を確実に解決していく力が必要とされます。どんな小さなことでも、現場の声を、届けてください。看護政策実現は、そこから始まります。

和歌山県看護協会会長 古川 紀子



会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

和歌山県看護協会は公益社団法人として 4 年を迎えました。今後も県民の皆様、会員の皆様に貢献できる看護協会を目指してまいります。

現在、医療・看護を取り巻く環境は大きく変化しています。

団塊の世代の人々がすべて 75 歳を迎える 2025 年には、「病院」から「在宅」へと医療体制が変革していく中で、住み慣れた地域で安心して生活を続けていくために、私たちは、これまで以上に頼りになる存在として、質が高く満足のできる看護を「いつでも・どこでも」提供できることが求められています。

和歌山県看護協会では、医療を必要とされる方々にふさわしい看護が提供できるよう行政とともに就業促進・離職防止事業、看護の心普及事業等に取り組んでいるところです。

さて、平成 18 年度から検討を重ねて参りました新看護研修センターにつきましては、10 年の歳月を経て完成し、4 月 1 日から業務を開始いたしました。快適な環境の中での研修、交流、災害支援、地域交流等の事業を実施し、公益社団法人として期待される役割を果たして参る所存です。

また、看護協会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を実現するためには、和歌山県看護連盟と看護協会の連携・協働が不可欠です。看護連盟と一致協力して看護の課題に対応してまいります。

最後に、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



国会議員挨拶



衆議院議員 あべ 俊子



和歌山県看護連盟の皆様、いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

第 189 回通常国会もすでに中盤へとさしかかっております。

国会議員として様々な会議に出席、発言をしています。特に今年は、以前から取り組んできた、看護学校など高等学校専攻科の修了生が大学に編入できないという問題がようやく改正される見込みです。看護をめぐる課題はまだ多くありますので今後も気を引き締めて政策の実現に努めます。

農林水産副大臣としても、国内外への視察や各種会議への出席・発言を通して、日本の農林水産分野の発展、農山漁村や中山間地域の振興のため全力で取り組んでいます。

「働く汗が報われる社会」「希望のもてる農業」を目標に、看護職の皆さんが「看護職になってよかった」と思えるような働きやすい労働環境、また、制度や法律を整備するため、国政の場に臨んでまいります。

今後とも皆様の温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



衆議院議員 木村 弥生



和歌山県看護連盟の皆さま、昨年 12 月の衆議院議員選挙で、北関東比例ブロックから初当選いたしました木村弥生です。私は大学病院勤務を経て、2008 年に日本看護協会に入職し、広報部課長、政策秘書室長を務めました。このたびの立候補については、選挙公示の数日前にお話があり、公示日前日に近畿ブロックから北関東に変更となるなど、目まぐるしい展開で、松浦三代会長はじめ和歌山県看護連盟の皆さまにはご心配をおかけしました。そのような状況ではありましたが、衆議院 475 議席の貴重な 1 議席をいただくことができました。

多様で柔軟性ある働き方を推進するための看護職の働き続けられる職場づくりは、看護管理者や院長の理解や努力が不可欠ですが、さらに国を挙げて取り組むことで、環境改善を加速化できると思います。「看護」を軸に、現場の声を丁寧にかがいがいながら、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

厚生労働大臣政務官 参議院議員 たかがい 恵美子



初夏の候、皆さまにおかれましては一層健やかに御精励のことと存じます。私も厚生労働大臣政務官を二期連続で務めさせていただいており、参議院議員としての任期も残り一年余に迫りました。これもひとえに、国民福祉の向上を願う看護職同志並びに志を共に活動が続けて下さる皆さまの御支援の賜と心から感謝いたしております。

さて本年は、敗戦後七十年、阪神淡路大震災後二十年、東日本大震災についても発生から五年目を迎えています。この歴史的な節目にあたり私は、建物や街路・生業の再建のみならず、一人ひとりの心情と地域・家庭・学校や商店街の脈わいが一体となって初めて‘復興’と言える日が来るのではないかと感じています。そして看護は、その前提となり安定を維持するための重要な社会基盤であると考えています。この揺るぎない信念のもと、全国津々浦々で活躍する看護職一人ひとりが、存分に輝けるようになるための政策づくり・仲間づくりに邁進する所存です。

さらにこれからの日本は、成熟した外交関係を構築し世界の平和に貢献することが一層重要となります。‘人の生きる力を守る看護のパワーを、社会の生きる力を創り出す政治に活かす’この精神で、皆さまと共に、がんばります。

参議院議員 石田 まさひろ



和歌山県看護連盟の皆様、平素より、お力添えを賜りありがとうございます。

人口急減・超高齢社会を迎えて大きな課題に直面している我が国では、官民一体となって様々な取り組みが行われております。社会保障制度改革においては、基礎となる具体的な施策が進められていますが、第 189 回通常国会に提出の健康長寿社会形成基本法案では、医療・介護の充実を国や自治体に促すとともに、健康増進に取り組んでいる人が特典を受けられる仕組みなどが盛り込まれました。

医療・看護のあり方が大きく変化する中、看護職ひとりひとりが政策にも積極的に参画し、力を発揮してまいりましょう。より良い看護を提供するため、看護職が新たな制度の未来を見据え、健康で過ごせる街づくり・地域医療構想の策定・介護保険事業支援計画の施策などにおいても、しっかり意見を述べていく必要があります。

国民の皆様が健やかで安心した暮らしができるよう、そして看護職が誇りを持って働くことができる環境作りのため、引き続き全力で活動してまいります。

看護職のストレスマネジメント研修

平成 27 年 1 月 10 日 プラザホープ 講師 飛騨千光寺住職 大下大圓先生



研修会に参加して

日本赤十字社和歌山医療センター 橋本 薫

今回、「ナースの生き方を変える自利利他にこころ」の研修に参加させて頂きました。看護職のストレスマネジメントの研修とあって大変難しいものではないかと心配していたのですが他人だけでなく共に癒される「スピリチュアルケア」について学ぶことができました。

飛騨千光寺大下大圓住職の語り口調や声のトーンがとても優しく、何か大きなものに包まれているような感覚を感じるもので、とても癒しになりました。また、看護と仏教・宗教とゆうものの結びつきが私の中にはなかったのですが古来より患者をケアすることにおいて、看護と宗教は深い結びつきがあったということを教わりました。改めて人と人との結びつきは場所や職業を選ばず、人をケアするという事は看護師が患者に向けて行うだけでなく、時に看護師もケアされるものであるということが理解出来ました。

まさに住職がおっしゃられていた「自利利他」という言葉通りで、それが自分の日常にもあるのだということに気付かされた研修でした。

和歌山県看護連盟「年賀会」

平成 27 年 1 月 24 日 場所 ホテルグランヴィア和歌山



年賀会に参加して

紀南支部支部長 田畑 博子

1 月 24 日、和歌山県看護連盟「年賀会」が開催されました。参加者は、124 名でした。

松浦会長は開会の挨拶で、和歌山県における看護政策実現のため活動目標と役割を強く発信しました。

続いて、草間朋子日本看護連盟会長、坂本登崇県議会議員、鶴保庸介参議院議員、吉井和視県議会議員、山田正彦県議会議員、尾花正啓和歌山市長、古川紀子県看護協会会長、仁坂吉伸県知事、高階恵美子参議院議員、石田昌宏参議院議員、門博文衆議院議員が来賓を代表してそれぞれ挨拶されました。谷真子前会長の乾杯挨拶後、各地区選出の県会議員と施設管理者が同テーブルに座り話し合いを持ち、和やかな雰囲気でした。今まで主として国会議員を支援するという姿勢でしたが、これからは、地方議員をどう支援し、また協力して頂く環境をつくっていくかが問われてくると思いました。

♡♡ 平成 27 年度日本看護連盟通常総会開催 ♡♡



平成27年6月2日、東京プリンスホテルにおいて、27年度日本看護連盟通常総会が開かれ、たかがい恵美子参議院議員が組織内代表に正式決定されました。

通常総会には 1945 人が出席し、前年度の活動報告、本年度の活動計画案や予算案の審議が行われ了承されました。

総会後の決起大会では、たかがい候補予定者の決意表明、自由民主党の谷垣禎一幹事長らの挨拶、応援メッセージなどで会場が熱気に包まれました。

♡♡ 近畿ブロックポリナビワークショップin大阪 ♡♡



平成 27 年 2 月 7 日に大阪で開催された近畿ブロックポリナビワークショップに和歌山県看護連盟青年部で参加しました。参加者はベテラン看護師から若手看護師まで 2 府 4 県から集まった約 120 名集まりました。清水嘉与子日本看護連盟前会長に看護界の歴史や現状、課題などをご講演いただき、シンポジウムでは各県の青年部それぞれの活動などを発表しました。和歌山県では、昨年参加した、『紀州夢まつり』を通じた行政、地方議員との連携や広報活動について発表し、質問なども飛び交い大盛況で終了しました。

恋活や国会見学、防煙教室や学生への出前政治研修など各県個性的な活動をしていたり、青年部としての活動方法や政治に対する思い、取り組みなどを傾聴し、学び合いとてもいい刺激になりました。

次回は 27 年 11 月 1 日に 1000 人規模で京都で開催されることが決まっています。みなさんのご参加お待ちしております。

「ポリナビ」とは「Politicians Navigators' Network (ポリナビの正式名称)」の略です。

ポリナビでは「政治」「政策」の学びを通して、自分達にでもできることを模索し、日本の保健医療福祉を今よりステキなものにすることを目指す、全国的な看護連盟若手（自称若手も含む）の取り組みです。

各都道府県、様々な学習会、研修を実施しており、看護の質を高めようと

努め、又、仲間作りをしています。



平成27年度和歌山県看護連盟通常総会プログラム



月日：平成 27 年 7 月 4 日 (土)

場所：プラザホープ 4 階ホール

12:20	会場	
12:55	オリエンテーション	
13:00	開会	
	物故会員への黙祷	
	挨拶 和歌山県看護連盟会長	
13:15	来賓祝辞	
	来賓紹介	
	祝電披露	
14:00	特別講演 テーマ「看護と政治」	
	講師 公益財団法人 日本訪問看護財団 理事長 清水嘉与子 先生	
14:50	議長団選出	
14:55	報告事項	
	1. 平成 26 年度通常総会報告	2
	2. 平成 26 年度日本看護連盟主催会議報告	2
	3. 近畿ブロック協議会主催会議・研修報告	3
	4. 平成 26 年度県役員・関する委員会報告	3
	5. 平成 26 年度研修報告	6
	6. 平成 27 年度代議員報告	8
	審議事項	
	第一号議案 平成 26 年度活動報告 (案)	11
	第二号議案 平成 26 年度決算報告 (案)	15
	第三号議案 平成 26 年度会計監査報告	16
	第四号議案 平成 27 年度スローガン (案)	17
	第五号議案 平成 27 年度活動計画 (案)	18
	第六号議案 平成 27 年度予算 (案)	24
	第七号議案 選挙対策 (案)	25
	第八号議案 役員選出	26
	第九号議案 定款の変更	27
	新旧役員挨拶	
	綱領宣言	
	日本看護連盟の歌斉唱	
16:30	閉会	

第四号議案

平成27年度 スローガン (案)

「ベッドサイドから政治を変える！」
 ～組織代表の当選を勝ち取る～

項目	目標	活動内容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
組織の強化拡大	1. 会員の獲得と定着 (目標: 県看護協会会員比35%)	①連盟未加入者に対する入会促進をする	○	○	・県看護協会役員・委員の未入会者に入会を促す
		②新人看護職員へ入会をはたらきかける	○	○	・看護協会入会施設の看護管理者に協会と連盟の役割について説明、連盟入会をはたらきかける
		③退職者へ継続加入を促進する	○	○	・新人看護職員に説明・入会をはたらきかける 新人看護職員対象研修 支部・施設内で実施する (入会案内・DVD の活用・アンフィニの配布)
		④賛助会員の加入を促進する	○	○	・ホームページを活用する
		⑤18歳選挙権に向け学生会員の入会を促進する	○	○	・退職者に特別会員としての入会をはたらきかける ・看護を考える部会の県議会議員、知人、親戚、OB にはたらきかける ・看護学校への施設訪問を行う(若手会員と共に) ・会員の身近な学生に入会をはたらきかける
	2. 看護管理者の意識向上を高める	①看護管理者政策セミナーの開催と参加促進する	○	○	・近畿ブロック協議会「看護管理者政策セミナー」参加を促進する: 10月3日(土)・4日(日) 大阪
		②看護管理者研修	○	○	・全ての看護管理者に参加を促す(看護協会会員施設の看護管理者に参加をはたらきかける)
		③看護管理者訪問	○	○	・日本看護連盟の看護政策と活動の情報は提供する
	3. 若手会員の育成	①青年部の組織化の推進	○	○	・青年部の組織の確立と強化を図る
		②青年部活動の促進	○	○	・青年部委員会開催を定例化する
		③近畿ブロックポリナビワークショップに青年部が主体的に参加できるよう支援する	○	○	・近畿ブロック協議会ポリナビワークショップ 11月1日(日) 大阪 近畿ブロック1000名参加予定 (和歌山県から100名参加する)
		④若手会員対象研修	○	○	・非会員施設に入会と共に研修会・集会等への参加をはたらきかける
	4. 学生会員の育成	①学生会員が看護政策について理解できるよう支援する	○	○	・看護教育者対象研修への参加を促す
			○	○	・ホームページ、アンフィニ等で情報提供する
			○	○	・近畿ブロック協議会ポリナビワークショップへの参加を促す
	5. 会員一人ひとりが自律した活動できる	①施設連絡員・施設内連絡員の自主性促進のための研修会の開催	○	○	・支部単位で学校訪問を行う
		②研修の体系化 ・新人看護職員研修	○	○	・青年部の委員が学校訪問を行う
		・新入会会員対象研修	○	○	
		③施設連絡員、施設内連絡員の自主性促進	○	○	・日本看護連盟・県看護連盟共催 リーダー研修 10月6日(火) 開催する
		④全会員対象研修 ・全会員対象に政治意識を高める	○	○	・新人看護職員対象研修 9月5日(土) 「看護政策を実現するために」 講師 草間朋子先生
		⑤看護管理者の意識を高める ・看護管理者研修 ・看護管理者・政策セミナー	○	○	・支部・施設で新入会会員のオリエンテーションと基礎研修の実施する
			○	○	・続基礎研修を各支部・施設で実施する
			○	○	・施設連絡員・施設内連絡員研修 10月6日(火) 開催
			○	○	・看護協会地区支部・看護連盟合同研修を開催する
			○	○	・通常総会特別講演 7月4日(土) 清水嘉与子先生
			○	○	・看護職のストレスマネジメント研修 12月5日(土) 講師 大下大圓 先生
			○	○	・看護管理者・教育者研修 2月20日(土) 講師 大島敏子先生
			○	○	・近畿ブロック協議会「看護管理者政策セミナー」 10月3日(土)・4日(日) 開催する

項目	目標	活動内容	推進機関		活動推進方法	
			県	支部		
組織の強化拡大	6. 広報活動の推進	①「現場の声」を政策提言に反映する	○	○	・日本看護連盟ホームページ『現場の声』アンケートへの入力をはたらきかける ・和歌山県看護連盟ホームページ「現場の声」への入力された意見を政策提言に反映させる ・機関誌「れんめい和歌山」年3回発行する ・ホームページを活用し迅速な情報提供をする ・会員・賛助会員への情報提供（Weekly 配布）する ・アンフィニ機関誌年4回配布する ・ハンドブック、クリアホルダー・公務員活動チラシを施設訪問・研修時に活用する ・日本看護連盟制作DVD を活用する ・阿部俊子議員・高階恵美子議員・石田昌宏議員・木村弥生議員の国政報告情報を活用する	
			○			
		②「れんめい和歌山」の発行	○			
		③ホームページの充実と活用	○			
			○			
		④会員が連盟活動の理解を深め、活発な活動を促進するために情報提供を行う	○	○		
			○			
			○	○		
		⑤政治・選挙に対する理解を深め、行動する	○	○		
			○	○		
	⑥看護職議員の活動を知る					
組織の適正な運営管理	1. 施設・支部・県協会と日本看護連盟と連携した組織を推進する	①活発な定例会議をとおして日本看護連盟・都道府県・支部の連携を強化する	○	○	・日本看護連盟・近畿ブロック協議会・県別会議 日本看護連盟総会 6月2日（火） 都道府県会長会（4/17・6/2・1/28・29） 県別会議 10月6日（火） 近畿ブロック協議会会長会 2回（9/9） ブロック別会長会 3月3日 ・県・支部の会議 県役員・関する委員会 月 1回 支部長会 適宜 支部委員会 2～3月に1回 ・連盟会議に協会役員の出席を促す ・県看護協会・連盟政策委員会ด้วย要望事項の検討する ・日本看護連盟・県・支部の連携を強化する 日本看護連盟役員に講師を依頼する	
			○			
			○			
			○	○		
			○			
			○			
			○	○		
			○			
			○	○		
			○			
			○			
			○			
	2. 事務局の運営を適正に行う	①会員を適正に管理する	○		・新会員管理システムの稼働 ①会員登録 ②会員移動登録 ③研修会参加者入力 ④後援会入会状況 ⑤個人情報保護管理する ・政治資金規正法を厳守する ・会計監査を年2回 実施する 上半期（11月）・決算期（4月） ・三役会議を開催する（毎月開催）	
			②財政を適正に管理する	○		
			○			
			③事務局運営の円滑化を図る	○		
			○			
会員の福祉	1. 慶弔への対応 2. 諸問題への支援	規約に基づき慶弔を行う	○		・受賞者への祝い・物故会員への弔意・災害見舞いを行う ・日本看護連盟との連携を速やかに行い問題解決する	
		専門家と相談して対応する	○			



連盟からのお知らせ

平成27年度 和歌山県看護連盟通常総会

日時：平成 27 年 7 月 4 日（土）
場所：プラザホープ 4 階ホール
特別講演 テーマ 「看護と政治」
講師：公益財団法人 日本訪問看護財団
理事長 清水嘉与子先生

組織代表候補 たかがい恵美子政策集会開催

日時：平成 27 年 7 月 25 日（土）
場所：プラザホープ 4 階ホール
参加者：連盟会員はじめ看護職
支援者・一般の方々

平成27年度 連盟会員 入会受付中！

年会費	日本看護連盟会費	5,000 円
	和歌山県看護連盟会費	3,000 円
計		8,000 円

皆様のご入会を
お待ちしております。



会員の皆様、如何お過ごしですか！ れんめい和歌山 49 号をお届けします。ご意見・ご要望をどしどしお寄せください。
日頃より看護連盟にご支援・ご協力本当にありがとうございます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

広報委員一同

本物の豊かさ やさしく包み込まれる 楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40。1cmに5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12

TEL 0120-88-2104

ホームページアドレス

<http://www.toyoumo.co.jp>



和歌山営業所 〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F

TEL 0120-32-7766